

2022年5月2日

各位

会社名 株式会社ハピネット
代表者名 代表取締役社長 榎本 誠一
(コード番号 7552 東証プライム)
本件問合せ先 取締役執行役員経営企画室長
石丸 裕之
電話番号 03-3847-0410

映画『梅切らぬバカ』

2022年5月11日(水)Blu-ray&DVD 発売開始のお知らせ

株式会社ハピネット(本社:東京都台東区、代表取締役社長:榎本誠一)の子会社である株式会社ハピネット・メディアマーケティング(本社:東京都台東区、代表取締役社長:鶴丸智康)は、2022年5月11日(水)より映画『梅切らぬバカ』Blu-ray&DVDの独占販売を開始します。

**老いた母と自閉症の息子の絆と深い愛を描いた、
あたたかな感動をもたらすヒューマンドラマ!**

■作品介绍

閑静な住宅街にある古民家で、寄り添って暮らしている母と息子。ささやかな幸せに満ちた日々を送ってきたが、息子が50回目の誕生日を迎えたときに母はふと気づく。「このまま共倒れになっちゃうのかね？」
母親と自閉症を抱える息子が、社会の中で生きていく様子を温かく誠実に描く人間ドラマ。母・山田珠子を演じるのは、映画、ドラマを中心に常に第一線で活躍し続けている加賀まりこ。本作は『濡れた逢いびき』(67)以来、54年ぶりの主演映画となる。“ちゅうさん”の愛称で呼ばれる息子・忠男役は、ドラマ『ドラゴン』の塚地武雅。『間宮兄弟』(06)で日本アカデミー賞新人俳優賞を受賞し、NHK連続テレビ小説「おちょやん」など俳優としても活躍。
日本の若手映画作家を育てる「ndjc:若手映画作家育成プロジェクト」の長編映画として選出・製作された本作。ドキュメンタリー映画の編集に携わり、障害者の住まいの問題に接してきた経験に着想を得て脚本を執筆、監督も務めたのは、『禁忌』(14)で長編映画監督デビューし、脚本家として『欲動』(14)、『マンガ肉と僕』(16)などを手がけた和島香太郎。

分刻みのルーティンを守る規則正しい忠男と、軽口を叩きながら甲斐甲斐しく息子の世話をする珠子の日常はユーモラスで愛おしい。街の片隅のその一角だけ、昭和のまま時代が止まったかのような古民家が親子の住まいだ。庭に大きな梅の木が1本ある。忠男にとっては亡き父の象徴であり、枝は塀を越えて私道にまで伸び放題だ。タイトルの由来である諺、「桜切る馬鹿、梅切らぬ馬鹿」とは、樹木の剪定には、それぞれの木の特性に従って対処する必要があることを指す。桜は幹や枝を切ると腐敗しやすく、梅は余計な枝を切らないとよい花実がつかなくなるためだ。だが、物事は型通りに収めるだけがすべてではない。相手と向き合い、でも互いに我慢しすぎず、共に幸せになる術を求めなかで、“梅を切らないでみる”という発想が浮かんだら？何が一番良い選択肢なのかは、お互いを理解しようとしあう中で生まれてくるものであるはずだ。



路上にまではみ出す梅の枝があってもいい。不寛容な世の中で、手探りで、それぞれが自分のペースで歩を進めていく。共に生きていくために、本当に大切なことは何か。答えを急がず、日々と向き合う母と息子の心温まる姿がそれを教えてくれる。

■ストーリー

山田珠子は、息子・忠男と二人暮らし。毎朝決まった時間に起床して、朝食をとり、決まった時間に家を出る。庭にある梅の木の枝は伸び放題で、隣の里村家からは苦情が届いていた。

ある日、グループホームの案内を受けた珠子は、悩んだ末に忠男の入居を決める。しかし、初めて離れて暮らすことになった忠男は環境の変化に戸惑い、ホームを抜け出してしまふ。そんな中、珠子は邪魔になる梅の木を切ることを決意するが……。

父親代わりの梅の木が運んでくれた“小さな奇跡”とは……。

■キャスト&スタッフ

<キャスト>

加賀まりこ 塚地武雅

渡辺いっけい 森口瑤子 斎藤汰鷹／林家正蔵 高島礼子

<スタッフ>

監督・脚本：和島香太郎



■商品情報

■『梅切らぬバカ』Blu-ray(1枚組) 5,280円(税込) BIXJ-0378

■『梅切らぬバカ』DVD(1枚組) 4,290円(税込) BIBJ-3510

特典

<Blu-ray&DVD 共通>

■映像特典

・予告集

※バリアフリー日本語字幕・日本語音声ガイド付き

※商品の仕様は変更になる場合がございます。

著作権表記：©2021「梅切らぬバカ」フィルムプロジェクト

発売元：株式会社ハピネットファントム・スタジオ

販売元：株式会社ハピネット・メディアマーケティング

DVD レンタル 5月11日(水)開始！